

地理・歴史科

教科名	地理・歴史科	科目名	探求地理
科目の目標	(1) 地理に対する興味・関心を深め、基本的な地理用語を理解する。 (2) 地理の学習を通して現代社会についての理解を深め、主体的に関わる態度を身につける。		
履修学年	3年	類型	文系・理系共通
単位数	2単位	履修形態	選択
教科書	新詳地理B(帝国書院)	副教材等	データブックオブ・ザ・ワールド(二宮書店)
			新詳高等地図(帝国書院)

①学習の目標

- (1) 広い視野を持って地理的事象を系統的・地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養う。
- (2) 地理的な見方・考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。

②学習内容と授業の進め方

- (1) 2年次の実施範囲における試験対策問題演習

③学習に当たっての留意点

- (1) 受験に対応するため、基本的な地理用語を理解させると同時に、政治経済や世界史・日本史などの内容にも関連させ、横断的な見方・考え方を身につけさせることを心掛ける。
- (2) 大学入試にも対応するための問題演習。

④評価の観点

- | | |
|---------------------|--|
| (1) 関心・意欲・態度
【関】 | 地理の楽しさを味わうことができるよう、自ら進んで計画的・意欲的に学習しようとする。 |
| (2) 思考・判断
【思】 | 世界の自然環境などを位置や空間的な広がりに着目して地理的事象を見だし、考察することができる。 |
| (3) 知識・理解
【知】 | 現代世界の特質を地球規模で理解し、その知識を身につけている。 |
| (4) 資料活用・表現
【資】 | 学習に必要な資料を収集して、役立つ情報を適切にまとめることができる。 |

⑤評価の方法

定期テスト・小テスト等を実施、日常の授業への関心・意欲・態度とあわせて総合的に判断する。

⑥授業計画

月	単元名	具体的な学習内容	評価の方法など(観点項目を記入)
4	地理情報と地図	現代世界の地図 地図の種類とその利用	・地図から地理情報を読み取ることができるか【資】
	自然環境	世界の地形 世界の気候 日本の自然の特徴と人々の生活	・世界の自然環境・生活文化に対して、課題意識を持ち、意欲的に取り組んでいるか。【関】
	資源と産業	環境問題 世界の農林水産業 食料問題 世界のエネルギー・鉱産資源 資源・エネルギー問題 世界の工業 第3次産業	・世界の自然環境などを世界的視野から地域的な相違点・分布に着目し、追求しているか。【思】 ・世界の自然環境などに関して、多様性や地域性をとらえる視点や方法を理解し、その知識を身につけているか。【知】
	前期中間考査		
↓	人口、村落・都市	世界を結ぶ交通・通信 現代世界の貿易と経済圏 世界の人口 人口問題	・資料を活用して、考察の過程や結果をまとめたり、発表したりすることができるか。【資】 ・世界の課題に対して、問題意識を持ち、意欲的に取り組んでいるか。【関】
	前期末考査		
	生活文化、民族・宗教	村落と都市 都市・居住問題 生活文化 民族と宗教	・課題を世界的視野から地域的な相違点・分布に着目し、追求しているか。【思】
	現代世界の諸地域	現代世界の国家 民族・領土問題 東アジア 東南アジア 南アジア	・世界の課題に関して、多様性をとらえる視点や方法を理解し、その知識を身につけているか。【知】
12	後期中間考査		・変容する現代世界の諸地域に対して、関心と課題意識を持ち、意欲的に取り組んでいるか。【関】
		西アジアと中央アジア 北アフリカとサハラ以南のアフリカ ヨーロッパ ロシア アングロアメリカ ラテンアメリカ オセアニア	・諸地域の環境条件、他地域との結びつき、地域に生きる人々の営みなどを多面的・多角的に考察しているか。【思】 ・事例として取り上げた地域・国・州・大陸の地域の特色を理解しているか。【知】
			・資料を活用して、考察の過程や結果をまとめたり、発表したりすることができるか。【資】